

セイブ コミュニティスクール だより No. 3

◆ 学校・家庭・地域総がかりで生徒を育てるしくみづくり

2024. 10. 18

鹿島西部中学校運営協議会

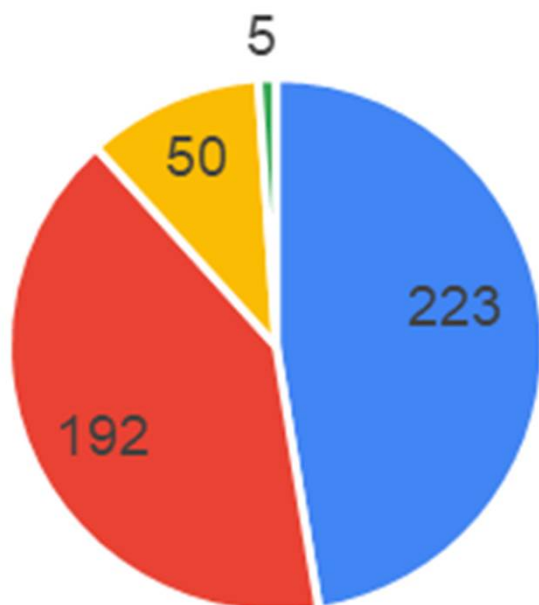
第2回学校運営協議会

今回は、以下のアンケート結果について「熟議」を行いました！

あいさつに関する中間評価

【生徒】

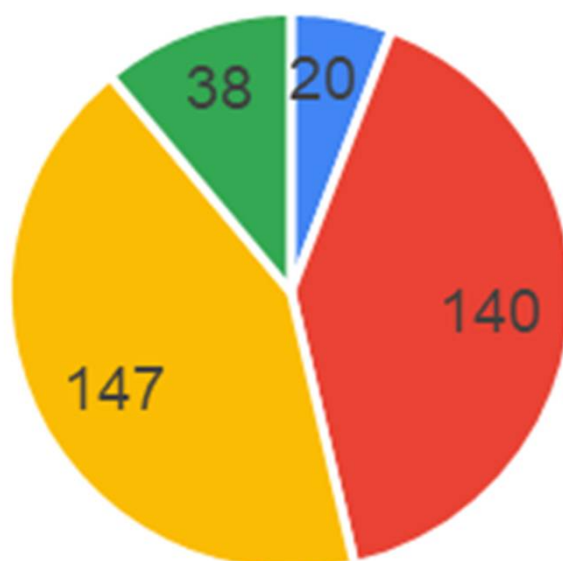
相手に聞こえるはっきりとした声で、あいさつをしていますか。



当てはまる	223
大体当てはまる	192
あまり当てはまらない	50
当てはまらない	5

【保護者】

相手に聞こえるはっきりとした声であいさつができていますか。



当てはまる	20
大体当てはまる	140
あまり当てはまらない	147
当てはまらない	38



生徒は、地域の方にとってもよくあいさつしているみたいだけど、保護者はそう感じていないみたい。答えにギャップがあるけれど、どうしてかなあ？

小学校でのアンケートも同じような傾向のようです。

学校運営協議会の皆様からたくさんのご意見をいただきました。
(裏面) みなさんはどう思われますか？

学校の行き帰りは、よくあいさつしてくれる。

(特に制服の時)



小学生のころからよくあいさつしてくれていた。大きな声であいさつする子もいるし、会釈する子もいる。会釈も、あいさつ。

中学生になると、部活動であいさつの大切さを学ぶようだ。とても気持ちがいい。



防犯を兼ねて、通学時間に外で学生にあいさつすると元気よく返してくれる。その場で対応する力もあり、社会に出て通用すると思う。

生徒は、地域でよくあいさつしてくれています。では、大人はどうでしょう。家庭ではどうでしょう。

自身も家庭では、振り返ればしれっとしていたかも。

朝ご飯、あいさつ等、家庭での日常が大事。

学校でも、職員同士のあいさつができているか。

あいさつは、やっぱり家庭から？親と子は共通している？

あいさつは人と人をつなぐもの。作法として教えていきたい。

小・中もよくあいさつはすると思う。本人たちも「挨拶しなければならない」ことは分かっているはず。思春期の特徴？でもあるのか、挨拶が恥ずかしくなる時期もある。思春期を超えると、あいさつするようになると思う。



委員の皆様の熟議を通じて西部中生徒が成長していることがよくわかりました。これからも、あいさつの啓発活動を続けて行きます。地域の皆様よろしくお願いします。

